

第76回税理士試験 ラストスパート模試 簿記論 (2026年5月24日 初版 第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、ありがとうございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明いたしました。

ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが訂正のうえ、ご利用ください。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用くださいますようお願いいたします。

2026.6.24

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
第2予想 (問題編) -A11-	1 現金預金に関する事項	(2) 甲社では複数の銀行に当座預金口座を開設… ……A銀行から取り寄せた期末日現在の残高証明書に記入されていた預金残高は 6,589 千円であった。	(2) 甲社では複数の銀行に当座預金口座を開設… ……A銀行から取り寄せた期末日現在の残高証明書に記入されていた預金残高は 13,184 千円であった。	2026.6.24
第2予想 (問題編) -A11-	1 現金預金に関する事項	① 期末日に預け入れた現金 6,600千円が、銀行側では4月1日に入金処理されていた。	① (削除)	2026.6.24
第2予想 (解答解説編) -45-	(2) 当座預金 (A銀行)	① 時間外預入 仕訳不要 ④ 銀行勘定調整表 (参考) A銀行 当座預金 <hr/> 証明書 6,584 ① 6,600 調整後 13,184	① (削除) ④ 銀行勘定調整表 (参考) A銀行 当座預金 <hr/> 証明書 13,184 調整後 13,184	2026.6.24

ISBN978-4-7810-3878-0

C1034 ¥3400E

【資料2】 X26年3月中の取引

- (1) 商品売上は、掛売上?千円(税込み)、現金売上6,600千円(税込み)であった。売掛金の回収は、当座入金38,500千円、現金による回収1,100千円、電子記録債権の発生記録59,400千円であった。また、電子記録債権の期日決済額(当座入金)は50,600千円であった。
- (2) 商品仕入は、掛仕入?千円(税込み)、当座支払による仕入9,900千円(税込み)であった。買掛金の支払は、現金支払9,460千円、電子記録債務の発生記録38,500千円であった。また、電子記録債務の期日決済額(当座支払)は37,400千円であった。
- (3) 車両を購入し、その際に下取りとして旧車両(期首帳簿価額は720千円であり、当期2月まで使用していた。)を適正評価額440千円(税込み)で引き渡し、新車両の価額5,500千円(税込み)から旧車両の下取価額を差し引いた5,060千円を当座預金口座から支払った。なお、新車両は直ちに使用を始めている。
- (4) その他の当座支払は、給料(営業費で処理)の支払(源泉所得税1,090千円控除後)8,010千円、源泉所得税の納付1,040千円、その他営業費支払7,040千円(税込み)であった。

【資料3】 修正及び決算整理事項等

1 現金預金に関する事項

- (1) 期末日に現金実査を行ったところ、現金出納帳の帳簿残高()千円に対し、現金実査高は()千円であった。差異の原因について調査したところ、以下の事実が判明した。原因不明の現金過不足額は11千円であり、雑損失として処理することとした。
 - ① P社株式の発行会社であるP社から配当金領収証750千円が送付されてきたが、未処理であった。なお、配当財源はすべてP社の利益剰余金である。
 - ② Q社社債の利札のうち、2月末に期日が到来したものについて未処理であった。
 - ③ 2月中に現金で支払った営業費14,700千円について、甲社では誤って14,070千円で処理していたことが判明した。
- (2) 甲社では複数の銀行に当座預金口座を開設しているが、そのうちのA銀行について、当座預金出納帳の帳簿残高13,280千円に対し、A銀行から取り寄せた期末日現在の残高証明書に記入されていた預金残高は**13,184千円**であった。差異の原因について調査したところ、以下の事実が判明した。
 - ① 3月27日に仕入先より当期の商品仕入に対する値引110千円(税込み)が振り込まれていたが、甲社に連絡がなかったため未処理であった。
 - ② 3月28日の借入金返済の自動引落(元本200千円、利息6千円)に関する記帳が未処理であった。

③ 営業費の支払（誤処理の修正）

(借) 営業費	630 ^{*01)}	(貸) 現金	630
---------	---------------------	--------	-----

*01) 正14,700千円－誤14,070千円＝630千円

④ 現金過不足

(借) 雑損失	11	(貸) 現金	11
---------	----	--------	----

※ なお、【資料3】1(1)の現金出納帳の帳簿残高は2,116千円、現金実査高は2,345千円です。

(a) 現金出納帳の帳簿残高(修正前)：2,116千円(前T/Bの金額)

(b) 現金出納帳の帳簿残高(修正後)：

(a)2,116千円＋750千円(上記①)＋120千円(上記②)－630千円(上記③)＝2,356千円

(c) 現金実査高：2,345千円(後T/Bの金額)

(d) 現金過不足：(c)2,345千円－(b)2,356千円＝△11千円(不足)

(2) 当座預金（A銀行）

① 値引代金の振込（未処理）

(借) 当座預金	110	(貸) 仕入	100 ^{*01)}
		仮払消費税等	10 ^{*02)}

*01) $110千円 \times \frac{100}{110} = 100千円$

*02) $110千円 \times \frac{10}{110} = 10千円$

② 借入金返済（未処理）

(借) 借入金	200	(貸) 当座預金	206
支払利息	6		

③ 銀行勘定調整（参考）

甲社		当座預金		A銀行		当座預金	
帳簿残高	13,280	②	206	証明書	<u>13,184</u>		
①	110						
		調整後	13,184			調整後	13,184

(3) 当座預金（B銀行）

① 借越利息（未処理）

(借) 支払利息	10	(貸) 当座預金	10 ^{*01)}
----------	----	----------	--------------------

*01) 1,250千円(残高証明書)－1,240千円(帳簿残高)＝10千円

② 当座借越

(借) 当座預金	1,250	(貸) 借入金	1,250
----------	-------	---------	-------